

会 議 録

1 会議名

令和4年度 第1回諏訪区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 報告事項（公開）

○ 地域自治推進プロジェクト及び令和4年度の地域協議会の取組等について

(2) 自主的審議事項（公開）

○ 二貫寺の森の活用について

1) 意見交換会の振り返り

2) 自主的審議の方向について

3 開催日時

令和4年6月17日（金） 午後7時から午後8時30分まで

4 開催場所

諏訪地区公民館 集会室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・ 委 員：川上 奈津子、川上 久雄（会長）、川室 光昭、西嶋 明子、服部幸雄、
堀川 悦郎、山岸 愛、山岸 真也、山田 勝也、山田 哲平（副会長）

（欠席2人）

・ 事務局：中部まちづくりセンター 小林センター長、藤井係長、山崎主事

8 発言の内容（要旨）

【藤井係長】

・ 会議の開会を宣言

・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条 1 項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【川上会長】

- ・会議録の確認：堀川委員に依頼

次第 2 議題「(1) 報告事項」の「地域自治推進プロジェクト及び令和 4 年度の地域協議会の取組等について」に入る。事務局より説明を求める。

【小林センター長】

- ・事前配付資料及びスライドを用いて説明

【川上会長】

今ほどの説明について質疑を求める。

(発言なし)

自分はまだ資料を全部読めていないため、理解できない部分もあった。

各自、資料をしっかりと読んで、分からないこと等があれば、改めて質問してよいと思う。資料をよく見て、理解していただきたいと思う。

特に最後に説明があった「地域活性化の方向性」については、なかなか面倒なようであるため、議論を進めて最終的に決めていきたいと思う。

【小林センター長】

中部まちづくりセンターが事務局を務めている 5 つの区で、本日までに同じ説明を行ったのだが、やはり反応としては皆一緒である。

現時点では具体的な話ではないため、質疑を求められてもなかなか出せないと思う。今後、具体的な話が出た際、質問があればいつでも聞いてほしい。

【川上会長】

以上で次第 2 議題「(1) 報告事項」の「地域自治推進プロジェクト及び令和 4 年度の地域協議会の取組等について」を終了する。

次に次第 2 議題「(2) 自主的審議事項」の「二貫寺の森の活用について」の「1) 意見交換会の振り返り」に入る。事務局より説明を求める。

【藤井係長】

- ・資料 1 に基づき説明

【川上会長】

今ほどの説明について質疑を求める。

(発言なし)

先般行った意見交換会について、協議していききたいと思う。

会議では、自分たちが知らなかったことや、初めて聞いたこともあった。どの団体も「二貫寺の森を何とかしたい」との考えで一致していたと思う。心強い話や残念な話もあったが、何とか二貫寺の森をよくしたいという方向性は間違いないと思う。

では、出席された委員より意見交換会の感想や、意見等を聞いて感じた二貫寺の森の課題等について、発言を求めたいと思う。

川上 奈津子委員から順番に発言を求める。

【川上 奈津子委員】

意見交換会はもっと堅い話になるとの思いで参加した。だが、意外にどの団体も二貫寺の森のことを大切に思っていて、どうにかしたい、今のままではよくないと思っているとの、率直な意見を聞くことができたため、地域協議会で考えていく方向性というか、一緒に考えて何を解決していけばよいのかといったことが見えてきた気がした。

特に、二貫寺の森研究会の平野会長より結構具体的な案を出していただき、大変に参考となったため、有意義な会だったと思う。

【西嶋委員】

会議に参加して、いろいろな意見をいただいた。やはり皆、二貫寺の森をより有効に活用していききたいとの気持ちが表れていたと思った。

感想とは異なるが、会議後に農林水産整備課の職員より連絡が来て、二貫寺の森の入口の看板の傷みが激しくなっているということで、農林水産整備課でも予算を付けて、看板を作ることができればよいと話していた。

そして、せっかく作るのであれば、諏訪小学校の子どもたちや地域住民も巻き込んで、看板づくりができるとよいと話していた。

その職員と自分とで、来週、諏訪小学校の校長先生に、看板作製について相談に行く予定である。具体的になるとよいと思っている。

【川上会長】

先般の会議が少し前進しているような気がして、嬉しい話であった。

【服部委員】

意見交換会は欠席したため、会議のメモを読んだ。

イベント等を考えるより、まずは環境整備が真っ先だと思った。いくつかの会が参加していたが、二貫寺の森の規約を1から10まで把握されている団体も少ないように感じた。

【堀川委員】

会全体の印象としては、いろいろな人たちの意見を聞くことができ、良かったのだが、意見交換会という観点からいうと、もう少しフリートークの時間がほしいと思った。今後、このような意見交換会があれば、もう少しフリートークの時間を長めに取ってほしいと思っている。

皆、おそらく改善しなくてはいけない点については、多くの思いがあると思うのだが、できないと思っている人も多くいると思う。だが、自分にはできることもあると思うため、そういったことを集中的に話し合っ、今後の方向性を考える時に、改めて皆の意見を伺いたいと思った。

【川上会長】

心強い意見に感謝する。何とか頑張りたいと思う。

【山岸 愛委員】

いろいろな話を聞くことができ、本当に有意義だった。方向性というか、これからどこに重点を置いて話し合うべきかといった、ヒントをいろいろと聞くことができたと思った。

課題は多いと思ったが、やはり、まずは整備というか、「人手不足をどう解消していくか」「予算がどう付くのか」といった、意見書や提案書を作るうえで、どこに焦点を置くべきかが示された意見交換会だったと思っている。

【山田 勝也委員】

自分も大変によい会議だったと思う。

今まで聞いていたことと違っていたことがあり、まずは環境整備から始めたほうがよいのではないかと思った。

【山田副会長】

二貫寺の森ができる前の歴史も遡って、本当に興味深い、大変よい話をたくさん聞くことができた。

また、二貫寺の森に対して、すごく熱い思いがある方が集まった会であったため、多分、時間も足りなかったと思うのだが、大変により話が聞けたと思う。

ただ、二貫寺の森に対して悲観的な意見である人も、当然、この諏訪地区にはいると思う。そういった人たちに対して、今後、こちらからどのようなかたちで二貫寺の森をアピールできるのかということも課題だと感じた。

【川上会長】

本日出た意見を、今後の話し合いの基にしていきたいと思う。

あのようなかたちで、初めて他の団体の人たちと話をすることができ、非常に良かったと思っている。自分たちが全然分からないことや知らないこと、過去のことともいろいろと話していただき、非常に良かった。

自分も二貫寺の森が森になる前の、畑や牧草地であったことはよく知っている。それから見ると、本当に40年でよくあれだけの森ができたと思う。

上真砂町内会長の発言に、子どもの頃はよくあそこで遊んだとあったが、あの頃から見ると今は本当に藪になっているため、その辺が今後の大きな課題だと思う。

本日出た意見を今後の話し合いにつなげていきたいと思う。

以上で次第 2 議題「(2) 自主的審議事項」の「二貫寺の森の活用について」の「1) 意見交換会の振り返り」を終了する。

次に次第 2 議題「(2) 自主的審議事項」の「二貫寺の森の活用について」の「2) 自主的審議の方向について」に入る。事務局より説明を求める。

【藤井係長】

- ・資料1に基づき説明

【川上会長】

今ほどの説明について質疑を求める。

(発言なし)

意見交換会も踏まえ、“地域協議会が目指す状態”を実現するため、二貫寺の森をどのように活用していったらよいか、発言を求めたいと思う。

先ほど事務局より説明があったが、市に意見書を提出する・元気事業の予算を要求するにしても、9月末までには行わなければ来年度の予算には間に合わない。それに向けて話し合っていくようにするというのも大事なのだが、それには時間が足りないように思う。

また、これまで意見交換会等を開催したこともあり、自主的審議のまとめ方については、今日の協議会で初めて聞いたわけである。今後はなかなか時間的な余裕がないのだが、その辺も頭に置きながら考えてほしい。

今すぐに二貫寺の森を使ったイベントをやるというわけにはいかないと思うが、その前の段階で、いろいろとやらなければいけないといった意見が皆あると思うため、その辺も踏まえて意見を求める。

【堀川委員】

何度も話に出ているように、整備は必要ということはほとんど決まっているようなことだと思う。森のどこを整備するのか、または、全体的なことなのかということだと思う。

先ほどから意見が出ているように、まずは二貫寺の森の看板を直し、それから看板周辺の整備ができるのであれば、整備するということから始めてはどうかと思う。

【川上会長】

本日の会議前に、なかなか二貫寺の森に行けなかったこともあったため見てきた。

草刈りはある程度してあるようだが、以前から話が出ているように、相変わらず管理棟から広場へ行く道がぬかるんでいて歩けない状態で大変であった。車が入れないこともないが、あれでは普通の靴を履いていた場合、そこから奥に入る気にはならなくなってしまうため、考えてほしいと改めて思った。

【山岸 愛委員】

意見ではないのだが、今後の方向を決める時に参考として、例えば、頸城区の大池や、大湊区の水と森公園、くわどり市民の森等はやはり綺麗である。予算がかかっていて、人の手が入っているということがすごく分かる。あのようなところは、どのくらいの予算をかけ、どのくらいの人間が関わっているのかといった

内訳が知りたい。

本当に二貫寺の森をどうにかしようとした場合、まずは「看板を立てる」ということであれば、農林水産整備課が予算を取ってくれたとしても、いくらが適当なのかといった数字の規模は、多分、自分たちにはなかなか分からない。冬季間以外、草刈りをしてずっと綺麗にするとなった時に、予算が幾らなのかも分からない。

例えば、まずは「ともだちハウス」までの道を、子どもたちが遊べる程度を目指すとした場合、どれくらいの予算で実現できるかといったことが分からない。

地域協議会で整備の提案を決めたとしても、何も根拠がない。少なくとも自分の中には何もヒントがないため、話し合う方向性として、「どこ」を「どれくらい」「どういう希望」で「誰が整備をする」ということになってくると思うため、何か事例のようなものがあるとよいと思う。

【川上会長】

「ここを整備すると予算はいくら」といったことは、確かに自分たちだけでは分からないため、市に聞かなければ分からないと思う。だがそこをやっているのは、なかなか先に進むことが遅くなると思うため、おそらく予算要求までに間に合わなくなってしまう。

そういった面では、他の成功例を確認する必要があると思う。特にこれまでに元気事業で実現しているのは、頸城区の2件だけと聞いている。おそらく大池・小池の森の整備も元気事業で行っているということであるため、研修に行ってみる必要があると思う。

また先日、くわどり市民の森に初めて行って見たのだが、あそこはレベルが違う。整備がとても進んでいるため比較はできない。

たまたま管理棟の中にNPOの人がいたため、少し話を聞くことができた。二貫寺の森を知っているかと聞いたところ、「聞いたことはあるが、行ったことはない」と言われたため、「ぜひ来てみてほしい」と話をさせていただいた。

桑取はNPOという大きな組織で予算をかけてやっているため、ここと比較することは厳しいと思う。だが、そういったところに行って「どういうふうにしていくか」といった話を聞く必要もあると思った。

他に意見はあるか。

【山田副会長】

今後「こういった方向でいく」ということは、大体固まりつつあるのかと思うのだが、この地域協議会の12人で二貫寺の森のことを話し合っていて、少しずつ町内会長や取り巻く人たちには話が浸透していると思うが、問題として諏訪区の住民に、自分たちが話し合っていることに対して本当に賛同いただけるのかということが、一番気になっているところである。

以前、「地域協議会でこういうことをしている」と話をした時に、そんなことをしているのかといった、少し冷たいような意見もあった。

実際、二貫寺の森にあまり興味がない人の中には、地域協議会が行っていることに否定的な人もいると思う。ただ、やはり二貫寺の森をよくしたいという人も、当然、住民の中にいることは分かっている。自分としては、やはり全員が同じ方向へ向いて進んでいったほうが、話をもっと広がると思っている。

【川上会長】

なかなか難しい問題だと思う。

地域住民に対し、地域協議会が「こういう話し合いをしている」ということを周知徹底できていないとしても、これは地域協議会だより等で知らせるしかないように思う。

【藤井係長】

地域協議会だよりも1つのやり方である。

これは個人的な考えだが、今後、地域協議会として市等に何か提案するような、具体的に「こうしたい」といったものが見えてきた段階で、例えば、町内会長から地域住民に「地域協議会はこういうことをしたい」ということを伝えることもよいと思うが、今はまだ伝えること・お願いする内容がないと思っている。「こういうふうにしたい」といった見通しがないために、それを具体化していくことが今後の作業だと思う。

そういったことを作り上げていく中で、地域住民に話をする機会を持つようにできれば、関心は少しずつ持っていただける、あるいはまた違う意見も聞こえてくると思った。

【川上会長】

まずは、地域協議会が「こういう話し合いをする」と決めたことに進んでいき、ある程度、地域住民に提案ができる話になれば、いろいろな場で発信していけばよいと思う。

ここまで来て、また 1 からやり直すということも大変であり、先日、意見交換会も実施して、よい話もたくさん聞くことができた。何とか二貫寺の森をよくしようということは、皆、切実に感じていたため、話をその方向に進めていきたいと思っている。

堀川委員の発言にもあったように、少し時間が短かったため、本当の自分の思いを言っている時間がなく残念かもしれないが、ぜひ時間があれば、あのようなかたちで会を持ちたいと思う。

他に意見等あるか。

【山岸 愛委員】

多分自分も、諏訪に住んでいたとしても、地域協議会委員をしていなければ、二貫寺の森に興味を持つかと言われれば、「地域協議会は何か分からないが、市から選ばれて何か真面目な話をしているようだが、森の話をしているのか」くらいに思うことは想像がつく。何も決まってない、今の段階で発信することができないことも分かる。

これからの話にも繋がると思うのだが、自分たちは地域協議会委員でしかないが、前期の地域協議会で移住促進について審議した結果、「移住促進諏訪の会」ができ、現在は団体として「諏訪に移住してほしい」ということを積極的に発信している。二貫寺の森についても、そういった団体に託すことができればよいと思う。

「二貫寺の森を守ろう」といった新しい会が、例えば先日の意見交換会に参加してくれた団体から賛同していただき、チームを作り、チームとして、諏訪の住民に、考えていることや、地域協議会が審議をしていることに対して協力してほしいことを発信する団体のようなものを作る、または募集等してはどうか。誰かがリーダーとなって進んでいく未来、あまり遠い未来の話ではないと思うのだが、そういったことが必要だと思う。

地域住民と地域協議会の間で、自由に動いてくれる団体のようなものが必要だと思う。それは「未楽来すわ」のような、今ある団体でもよいと思う。新しく作ることができれば、それはそれでよいと思う。今ある団体に、自分たちが水面下で声かけをすることも、必要なのではないかと思った。

【川上会長】

確かに、山岸 愛委員の意見は理想だと思う。

自分も以前、移住促進諏訪の会の立ち上げに関わったのだが、あれはスムーズに移行ができた。だが今回は整備の問題等、いろいろな大変な作業もあるため、なかなか団体を立ち上げることは難しい気もする。

新たに団体を立ち上げることが一番理想だと思うのだが、その辺は改めて、話し合いで決めていけばよいと思う。実際、諏訪区には「里づくり協議会」や「町内会長協議会」がある。それらと歩調を合わせてやるのか、または新しい会を作るのかといったことも考えていかなければならないと思う。

今ほどの意見は、貴重な意見として聞いておきたいと思う。その辺の橋渡しを地域協議会で行うことができればと思う。他に意見等あるか。

【西嶋委員】

山岸 愛委員の意見と重複するかもしれないのだが、二貫寺の森は「市民の森」ということで、いろいろと勝手なことはできない。

資料 1 の「利用促進—環境整備」の 3 つ目の記載を見ると、「貴重な植物や自然を保全しながら利用してもらうには、保護すべきエリアと開発してもよいエリアを区分けしながら取り組めばよいのではないか（二貫寺の森のセールスポイントが必要）」とある。

二貫寺の森全体を取組の範囲とすると広すぎるため、どこから手を付けていけばよいのか分からない。

大事な森で貴重な植物もあるため、「構わない・残しておく場所」と、逆に子どもたちが遊べる・キャンプができるスペース等、何かすみ分けのようなものができている森になるとよいと、個人的には思っている。

例えば、実際に「保護すべきエリア」はどこ、「開発してよいエリア」はどこ、といったことを決めてもらう等、森の専門家のような人たちにも協力してもらっ

てはどうか。

自分たちが「ここはこう」と思っている、それでよいのかよく分からない。森に対する専門家の人たちに、二貫寺も森について見てもらいたい。まず、そういったことを行い、整備をする・園路に砂利を敷く・砂利ではなくチップがよいといった意見を言うてもらうことができればよいと思った。

【川上会長】

意見交換会で、遊歩道の整備は行ってよいとの話を聞いたため、遊歩道はよいと思う。ただ、二貫寺の森の中は結構広いため、全部を行うことは無理な話である。重点的に「こことここ」といった線引きが必要だと思う。

自分が会議前に歩いて感じたこととして、せめて自分のような高齢者が周遊できるところがほしいと思った。今は一方通行の道路しか整備がされていない。奥まで入ることが怖い場合には、せめて管理棟の近くだけでも周遊できるような、犬の散歩でもできるような環境にしてもよいと思う。まずはそのあたりから取り組むこともよいと思う。

再三言っているように、二貫寺の森の入口辺りは本当に藪化している。入口あたりは手を入れて公園化し、「入口はここ」ということが分かればよいと思った。また残念ながら桜の木の枝が、今は垂れ下がり道路を覆っているため、何とかしなければならぬような気がする。

西嶋委員に確認である。先日、五百川先生に来ていただいて二貫寺の森に入ったと思うが、その時は公民館側から入ったのか。その時の状況を話してほしい。

【西嶋委員】

公民館講座で、小学校の全児童と地域住民、里山に親しむ会の人たちにも来ていただいた。二貫寺の森の橋のところで合流し、橋からともだちハウスまで皆で歩いていき、またスタート地点まで戻ってきた。

いろいろな植物を見ることができ、食べられる実もたくさんあったため、子どもたちはとても喜んでいました。

【川上会長】

そういったかたちで観察会が頻繁にできれば本当によいと思う。

遊歩道は、人がある程度通ると、多少は草刈りをしなくてもよい状態になる。

やはり人が入らなければ、どうしても荒れてしまうといったことがあると思う。

先日の公民館講座は植物観察会だったと思うが、園路はきちんと整備されていたか。

【西嶋委員】

整備されていた。

【川上会長】

おそらく草刈りをしたばかりだったと思う。そういったこともしていただいている。

市の担当者の話では、「利用が増えれば、予算が提案できる」といった話もあったのだが、ニワトリが先か卵が先かという感じで、なかなか難しいところである。そういったことも含めて、これから話し合っていきたいと思う。

他に意見等あるか。

(発言なし)

本日出た意見は事務局で整理し、次回の会議資料で提示するよう願う。

以上で次第 2 議題「(2) 自主的審議事項」の「二貫寺の森の活用について」の「(2) 自主的審議の方向について」を終了する。

次に次第 2 議題「(3) その他」に入る。本日の議題に関して、何かあるか。

(発言なし)

最後に次第 3「その他」の「(1) 次回開催日の確認」に入る。事務局より説明を求める。

【藤井係長】

・ 次回の協議会について説明

【川上会長】

— 日程調整 —

・ 次回の協議会：7月14日（木） 午後7時から 諏訪地区公民館 集会室

・ 内容：自主的審議について

最後に、全体を通して何かあるか。

【堀川委員】

事務局に確認である。

次回の協議会はどのような内容になるのか、少し教えてほしい。

【藤井係長】

本日、意見をお聞きしたところであるため、細かい部分はこれから考えていく。

意見交換会の内容もベースに置きながら、先ほど自主的審議の方向性は 3 つとの話もあった。市に実施を投げかけたいことがあれば意見書のかたちだと思う。また、9 月までのスケジュールという課題はあるが、地域が市と一緒に取り組みたいとすれば、元気事業である。パターン別に分けて、どういうところを選んでいくかについて議論ができればと思っている。

ただ先ほど、「新たな地域の団体」といった話もあった。そういうことであれば、それは市に提案するというよりも、地域内での意思疎通・共有がポイントだと思う。ただし、市の施設であるため、市と協議しながら進めていく必要はある。

まとめ方のパターンをもとに、どういう方向に行きたいかというところを協議できればと考えているが、改めて案内したいと思う。

【堀川委員】

本日は「具体的なこと」ということで、先ほど具体的な案を自分は出したのだが、もう少し皆から出してもらわなければ前に進んでいかないのではないかと感じた。次回はずいぶん、もう少し具体的な案を出してもらえればと思う。

【川上会長】

意見書を提出するにしても時間がないため、出すのであれば次回の協議会でまとめていきたいと思う。最低限、「これはやりたい」ということを決めることができればよいと思う。

本日も話が出ているように、環境整備等がまずは一番の課題だと思うため、その辺も含めて、次回まとめることができればよいと思っている。

他に何かあるか。

【藤井係長】

- ・令和 4 年度地域活動支援事業の結果を説明

【川上会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-1690

E-mailchubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。